この本の特色

このテキストは、中学受験をめざす小学４年生のみなさんのための夏期講習用教材として、読解力を身につけ、国語を学ぶために必要な知識を得るためにつくられたものです。４年生の一学期に学習した内容を基本から応用まで、わかりやすくまとめてあります。

この本の使い方

- **例　　題**…各単元で学習する内容を実せん的に身につける問題です。「学習の要点」「考え方」を確認し、何を学習するのかをはっきりつかみながら解いてみましょう。
- **学習の要点**…各単元で学習するもっとも大切なことがらをまとめてあります。
- **考　え　方**…「例題」の解き方のポイントが書いてあります。
- **基本問題**…「例題」で学習したことがらをたしかめるための問題です。
- **練習問題**…「基本問題」より一歩進んだ問題です。じっくり時間をかけて解きましょう。
- **知識問題**…受験に必要な、おもに言葉に関する知識をまとめています。まとめをよく読み、問題を通して確実におぼえるようにしましょう。

もくじ

小4・国語

1 説明文　文ごとの役割・指示語・接続語……2
　五十音図・国語辞典の使い方――8
2 説明文　話題・要点……10
　かなづかい・送りがな――16
3 説明文　全体の内容をつかむ……18
　漢字の音訓・部首――24
4 物語文　場面とその展開……26
　漢字の画数・筆順・漢和辞典の使い方――32
5 物語文　人物の気持ちとその変化……34
　和語・漢語・外来語――40
6 物語文　人物の性格・考え方・生き方……42
　同訓異字・同音異字・同音異義語――48
7 物語文　主題を正確につかむ……50
　熟語の組み立て・三字熟語・四字熟語――56
8 詩……58
　主語・述語・修飾語――64
漢字トレーニング……66

Sample

1 説明文 ——文ごとの役割・指示語・接続語 ——五十音図・国語辞典の使い方

例題

★ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

学習の要点

●文ごとの役割

(1) 話題・問題を示す役割をはたす文
(2) くわしく説明する役割をはたす文
(3) 結論・まとめをのべる役割をはたす文

●文ごとの役割の考え方

(1) それぞれの文の内容を正確に理解する。
(2) 前後のつながりから役割を判断する。

●指示語（こそあど言葉）

「これ」「そこ」「あちら」「どの」など、事物や場所や方角などを指し示す言葉を「指示語」といいます。

●指示語の読み取り方

(1) 指示語はすぐ前の部分を指す場合が多いことに注意して、あてはまる部分をさがしていく。
(2) 指示語が指している部分をあてはめてみて、意味が通るかたしかめる。

●接続語

文と文などをつなぐ働きをする言葉を接続語といいます。

●接続語の種類

(1) 順接（だから・そこで・したがって）
(2) 逆接（しかし・ところが・けれども）

Sample

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

（後藤和文「マンモス復活大作戦」より）

25

□**問一**　――線①「イギリスへは、もちろん海を泳いでわたったのではない」の一文の役割として、あてはまるものを次から選び、記号で答えなさい。

ア　直前の文の内容について、その原因・理由を説明している。
イ　直前の文の内容について、別の言葉に言いかえて説明している。
ウ　直前の文の内容について、一部を補って説明をつけ加えている。
エ　直前の文の内容に対して、まったく別の問題を示している。

□

□**問二**　［Ⅰ］・［2］にあてはまる接続語を次から選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア　たとえば　　イ　さて
ウ　だから　　エ　ところが

Ⅰ □
2 □

□**問三**　――線②「この」は何を指していますか。次の□にあてはまる言葉を、それぞれ文章中から書きぬいて答えなさい。

・［　　］の変化。
・［　　］の変化。

考え方

問一　――線①の前後の文の内容を考えます。

前　マンモスは、中東とトルコあたりをわたって［ヨーロッパ］へ移動。
←
後　イギリスとフランスは地つづきだった。

後の文は、前文の「ヨーロッパ」がどのような様子だったかを説明しています。

問二　前後の段落の内容を考えます。

［Ⅰ］の前段落は、現在、海でへだてられているユーラシア大陸とアメリカ大陸が地つづきだったとあります。対して［Ⅰ］の後は、マンモスの体毛に話題が変わっています。

［2］は、前段落で「温暖だった気候」が後段落で「激変」していることから考えます。

問三　指示語が指す内容は直前の部分からさがします。ここでは、直後にある「そして」という接続語をはさんで、「この変化についていける」を「この寒い気候と草原に適応」と言いかえていることも手がかりにすることができます。

(3)　並列・添加（また・さらに・そして）
(4)　選択（または・それとも・あるいは）
(5)　説明（なぜなら・たとえば・つまり）
(6)　転換（さて・では・ところで）

Sample

基本問題

1 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

（富山和子「海は生きている」より）

□**問一** ――線①「塩は、水や空気とおなじほどにたいせつだ」とありますが、それはなぜですか。次から選び、記号で答えなさい。

ア　塩からい汗が出なくなってしまうから。
イ　わたしたちのからだの活動に必要だから。
ウ　海からおくられる大切な食料の一つだから。
エ　海や海岸線にめぐまれた日本の特産物だから。

□

□**問二** ――線②「池といっても、東京二十三区とおなじほどの面積もあるような大池だったりします」という一文は、どんな役割をしていますか。次から選び、記号で答えなさい。

ア　前文までの内容をわかりやすく言いかえている。
イ　前文までの内容が特別な例であることを示している。
ウ　前文までの内容をくり返して強調している。
エ　前文までの内容をくわしく説明している。

□

□**問三** ――線③「そんな方法」とはどのような方法ですか。「～方法。」に続く形で、文章中の言葉を使って二十字以内で答えなさい。

方法。

□**問四** ＊　にあてはまる接続語を次から選び、記号で答えなさい。

ア　しかし　イ　また
ウ　そこで　エ　なぜなら

□

Sample

2　次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

（浅井冨雄（あさいとみお）「いま、地球があぶない」より）

□**問一**　――線①「その」は何を指していますか。「～のほとんど。」につながるように、文章中から二字で書きぬいて答えなさい。

［　　］のほとんど。

□**問二**　――線②「このようにして少しずつ成長しはじめた海」とありますが、海が誕生した原因（げんいん）として、**あてはまらない**ものを次から選び、記号で答えなさい。

［　　］

ア　水蒸気に二酸化炭素がふくまれていた。
イ　大気中に水蒸気がふくまれていた。
ウ　地球の表面温度がさがりはじめた。
エ　雨がくぼ地にたまりはじめた。

□**問三**　［＊］にあてはまる言葉を次から選び、記号で答えなさい。

［　　］

ア　では　　**イ**　だが
ウ　しかも　　**エ**　だから

□**問四**　――線③「この時期に……ふえはじめたからである」の一文の役割として、あてはまるものを次から選び、記号で答えなさい。

［　　］

ア　直前の文の内容について、新たなことがらをつけ加えて説明している。
イ　直前の文の内容について、その原因・理由となることがらを説明している。
ウ　直前の文の内容について、別の言葉に言いかえてくわしく説明している。
エ　直前の文の内容について、比喩（ひゆ）（たとえ）を使ってくわしく説明している。

Sample

★ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

（手塚治虫「ぼくのマンガ人生」より）

（注）合理主義…感情や本能にとらわれず冷静に物事をとらえ、道理にしたがって生きようとする態度。
第一義…もっとも大事で根本的な意味。
累を及ぼす…迷惑をかける。
尻馬に乗る…深く考えずに、人のあとについて物事を行う。
傍観…何もしないで、そばで見ていること。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

Sample

□問一　――線①「それ」が指すこととして、最もふさわしいものを次から選(えら)び、記号で答えなさい。

ア　いまの子供をめぐる状況のなかで、大きく欠けているもの。
イ　現在の教育のなかで、もっとも欠けているもの。
ウ　いまの若者の心をいやしてくれるもの。
エ　われわれの世代にあったもの。

□問二　――線②「未知のものへの挑戦」とは、何のことですか。文章中から二字で書きぬいて答えなさい。

□問三　3段落(だんらく)で、この段落の話題を示(しめ)す一文をさがし、はじめの五字を書きぬいて答えなさい。

□問四　――線③「石橋を叩く主義」とは、「石橋を叩いて渡る」ということわざから、筆者が考えた言葉です。このことわざの意味を次から選び、記号で答えなさい。

ア　待っていれば必ずよいことがある。
イ　身近なことはかえって気がつかない。
ウ　強いものにはさからわない方がよい。
エ　用心のうえにも用心をおこたらない。

□問五　――線④「だから」は、どういう働きをしていますか。最もふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。

ア　前のことがらが後のことがらの理由であることを示す働き。
イ　前のことがらと後のことがらの話題の変化を示す働き。
ウ　前のことがらと後のことがらが並(なら)ぶことを示す働き。
エ　前のことがらと逆のことがらが後にくることを示す働き。

□問六　＊にあてはまる言葉を次から選び、記号で答えなさい。

ア　さて　　イ　そして
ウ　もしも　　エ　なぜなら

□問七　――線⑤「そういった夢や空想」にふくまれる内容(ないよう)を次のようにまとめました。A・Bにあてはまる言葉を6段落中から、Aは五字、Bは九字で書きぬいて答えなさい。

A を、宇宙基地やアマゾンの奥地や幻想の国に見たてたり、自分が夢の中の B になったりすること。

A

B

Sample

五十音図・国語辞典の使い方

●五十音図

(1) 清音（すんだ音）を、五つの母音（あ・い・う・え・お）にしたがって五音ずつ十行にならべた表。たての列を「行」、横の列を「段」といいます。

(2) 濁音（にごった音）、半濁音、拗音（二文字で一音節）も、清音と同じように「行」と「段」で表すことができます。

●国語辞典の使い方

(1) **五十音順（アイウエオ順）に引く**

・最初の字の音が同じ場合は二番目の字の音が、二番目の字の音が同じ場合には三番目の字の音が五十音順になっています。

例 下位（かい）→海水（かいすい）→回数（かいすう）

・清音→濁音→半濁音の順になっています。

例 母（はは）→馬場（ばば）→パパ

注意！

国語辞典を使うときは、まず言葉全体を見て、濁音も半濁音も清音と同じととらえます。たとえば「包帯（ほうたい）」「ボタン」「ポイント」を調べる場合、すべて清音にすると「ほうたい」「ほたん」「ほいんと」となります。したがって、五十音順の原則にあてはめると、「ポイント」→「包帯」→「ボタン」の順に出てくることになります。はじめから最初の字→二番目の字→三番目の字、と注目しないように気をつけましょう。

(2) **言い切りの形で調べる**

形がかわる（活用する）言葉は、言い切りの形で出ています。また、言い切りの形が「だ」で終わる言葉は、「だ」をのぞいた形で出ています。

例 読まない→読む　重かろう→重い
明らかだ→明らか

(3) **文章中でのふさわしい意味を考える**

一つの言葉に二つ以上の意味がある場合は、文章をよく読んで、最もふさわしい意味を選びます。

例 明日の発表会は気が重い。→②

① 目方が多い。比重が大きい。またはそのように感じる。
② つかれや病気・なやみなどで気分が重苦しく感じる。
③ 動きがにぶい。
④ 安定している。こうげきしにくい。
⑤ 重要だ。大切だ。
⑥ 深刻だ。ひどい。

□**問一** 五十音図において、次の説明にあてはまる文字を、ひらがなとカタカナの両方で答えなさい。

(1)「ハ行・エ段」から右へ一つ移動した位置の文字
(2)「ヤ行・オ段」から左へ二つ移動した位置の文字
(3)「マ行・ア段」から下へ二つ移動した位置の文字

(1) □　□
(2) □　□
(3) □　□

□**問二** 次の(1)～(5)の各組の言葉を国語辞典に出ている順に記号で答えなさい。

Sample

(1) ア 初耳　イ 初荷　ウ 初雪
(2) ア 武士（ぶし）　イ 無事（ぶじ）　ウ 不治
(3) ア 名士　イ 名所　ウ 名勝
(4) ア 番号　イ 判断（はんだん）　ウ パンダ
(5) ア ピアノ　イ 便乗　ウ 日の出

(1) □ → □ → □
(2) □ → □ → □
(3) □ → □ → □
(4) □ → □ → □
(5) □ → □ → □

□問三

次の(1)～(10)の――線部の言葉を、国語辞典に出ている形に直し、ひらがなで答えなさい。

(1) 父は曲がったことがきらいだ。　□
(2) 彼（かれ）が来たら出発します。　□
(3) この池はさぞ深かろう。　□
(4) 細くせまい道を通る。　□
(5) 友達（ともだち）にうそをつくなんてよくないよ。　□
(6) 明日は図書館に行こう。　□
(7) 無理（むり）なご乗車はおやめください。　□
(8) 母親におこられた。　□
(9) 目を開けると光がまぶしかった。　□
(10) おばけなんてこわくはない。　□

□問四

次の(1)～(6)の――線の言葉は、文中でどのような意味で使われていますか。それぞれ記号で答えなさい。ただし、同じものは二度選べません。

(1) 人を見る目がない。
(2) 赤ちゃんのめんどうを見る。
(3) いたい目を見る。

ア 世話をする　イ 評価（ひょうか）をする　ウ 経験（けいけん）する

(1) □　(2) □　(3) □

(4) 彼女（かのじょ）は明るい性格（せいかく）だ。
(5) 明るい色で絵をかく。
(6) 明るい未来を切り開こう。

ア 陽気だ　イ 希望がある　ウ あざやかだ

(4) □　(5) □　(6) □

Sample